

(研究実施に関する掲示ポスター)

2021年1月1日から2022年12月31日までに近視治療外来を受診された患者さんへ
研究協力をお願い

(研究課題名・承認番号)

オルソケラトロジーまたは多焦点ソフトコンタクトレンズと0.025%アトロピン点眼併用療法
の眼軸伸展抑制効果と眼球収差との関連 (承認番号: M2022-333 番)

※本研究は、本学医学部倫理審査委員会の承認と機関の長の実施許可を受けて実施されま
す。

(研究目的)

近年、子どもの近視の有病率が増加しており、子どもの教育に対する競争が激しい地域
では、9割以上の子どもが近視になっています。また、疫学データの蓄積から、近視が将来
の目の病気の罹患率に与える影響が大きいことが判明しております。

近視進行予防治療の一つに、オルソケラトロジーや多焦点ソフトコンタクトレンズ、低
濃度アトロピン点眼があげられます。成長に伴う近視の進行は、主に眼球の横の流されあ
る眼軸長が伸展する事で生じますが、各治療において眼軸伸展抑制効果を認めました。ま
た、眼軸伸展抑制効果は、光線が一点に集まらない事で像のぼやけや歪みを生じる収差と
の関連を認めました。一方、長期間でのオルソケラトロジーまたは多焦点ソフトコンタク
トレンズと、低濃度アトロピン点眼の併用時において、眼軸伸展抑制効果と、収差の相関
関係は未だ判明しておりません。

本研究の目的は、オルソケラトロジーまたは多焦点ソフトコンタクトレンズと0.025%ア
トロピン点眼併用療法
の眼軸伸展抑制効果と眼球に関連する収差との関連を検討すること
です。

(研究内容)

2021年9月1日から2022年12月31日までに東京医科歯科大学病院強度近視外来を受
診し、オルソケラトロジーまたは多焦点ソフトコンタクトレンズと、0.025%アトロピン点
眼併用療法を実施した、6歳から12歳の近視の患者さんの右眼を対象とします。これらの
カルテの結果を後向きに見返し、近視患者さんの眼球に関連する収差に対し、眼軸長、視
力などとの関連を分析します。分析する具体的な項目として、性別、年齢、裸眼視力、等
価球面度数、眼軸長、眼球収差が挙げられます。

個人を特定出来るお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。また、研究結果
の発表時にも個人情報を使用いたしません。研究対象者となる方に新たに費用が生じたり
、診療上の不利益が起こることは決してありません。謝礼はございませんが、研究結果
をもとにより良い診療及び治療に役立ててまいりたいと思います。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上
げます。本研究への参加をご希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出
下さい。お申し出後に、収集したデータは破棄します。また本研究への参加をご希望され
ない場合でも、今後の診療に不利益を被ることは決してありません。

本研究は研究責任者である大野京子宛の寄付金(番号1450・主任研究者:大野京子)を
用いて行われています。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に
対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。
また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って
参ります。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を
提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになって
いるのではないかと・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者
から見て生じかねない状態のことを指します。

(研究期間)

医学部倫理審査委員会承認後から 2024 年 12 月 31 日まで

情報の管理の責任者：大野京子

(研究についての内容、問い合わせ等の連絡先)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学病院 眼科 研究責任者 大野京子

電話 03-5803-5302 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部事務部総務係

電話 03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)